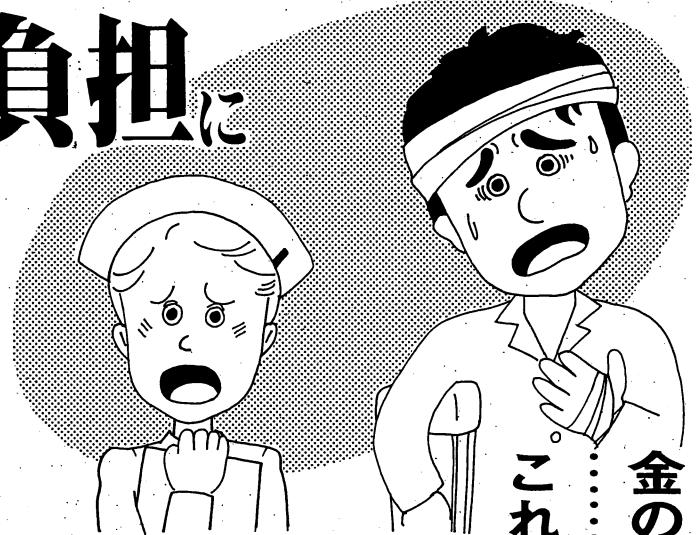


金の切れ目がいのちの切れ目

。これでは医者にかかるない！



健保の本人も2割負担に

自民党中央曾根内閣は、ア

メリカの要請にこたえて五
十九年度予算編成にあたつ
て、軍事費のみ大突出をさ
せながら、健康保険本人の
十割給付を八割に引きさげ
るのをはじめ、入院時給食
料一日六百円患者負担とし、
カゼや胃腸薬などを保険適
用外とするなど、健康保険
制度の大改悪を打ち出しま
した。

これが通されると組合健
保にも連動します。さらに
改悪が予定されているのは
国民健康保険への国庫補助
切り立てで、国民健保も大
ピンチに。

健保本人2割負担は 医療権うばう大改悪

家計に直撃パンチ

政府はこのほど、戦前の一九二七年（昭和
二年）いろいろ実施してきた健康保険の本人
全額給付制を全面的に否定しようとしていま
す。

来年から「十割給付の原則」をやめて、被
用者保険本人の十割給付を八割に引き下げ、
二割を自己負担させようというもの。「病氣に
なつたら家庭が破滅する」という、悲さんな
状況が生れようとしています。
これは、医療保険制度を根本から切りくず
し、労働者・国民の医療権、生存権（憲法二
五条）を奪うものです。

- 政府自民党のねらう医療保険制度の改悪の骨子
- 被用者保険の本人給付
10割から8割へ引き下げ
 - 入院時の給食費
1日当たり600円を負担
 - 保険適用除外
ビタミン剤、カゼ薬、健胃剤、漢方薬
 - 退職者医療制度の創設
健保の保険料引き上げなどで退職者の医療
費をまかなう
 - 高額医療費の自己負担限度額の引き上げ
現行の1ヵ月51,000円（日雇健保などを除
く）を同54,000円に引き上げ
 - 日雇い健保廃止

- 軍事費突出で医療切りすて
- 命をうばう冷たい自民党政は許さない。
- 「健保」—「人勘凍結」—「組合つぶし」
- 根っこは同じ臨調路線、勝利をめざし共に闘おう。

あなたの署名が、あなたの命を守ります

今こそ、「健康保険改悪ノ一」「医療と福祉の充実を」と、皆さん
のお力ぞえを心から呼びかけるものです。

健保改悪反対の、貴女の声と、貴方の署名で、政府の企みを撤回
させましょう。

お問合せ・連絡は
☎ 801-8002 京都医労協

京大病院和進会
不当解雇
組合弾圧事件

理事を解任された労務屋に全面委任

切石理事長代行

患者さんそつちのけで紛争拡大

医学・教育の場における長期紛争は許されない
すでに紛争発生から四回目の年の瀬も間近か

問われる大学の自主性、塚原病院長(和進会会長)の責任

切石代行の「委任」をタテに

紛争の泥沼化ねらう労務屋

京大病院の中では患者給食など六部門をうけもつ財団法人和進会(理事長代行切石安重雄)で、給食内容の改善などを要求し闘いつづけて来た和進会労働組合に労務屋(組合つぶし屋)を使って弾圧が加えられ、組合員らの不当解雇が強行されてから、早くも四回目の年の瀬を迎えるとしています。

労務屋柴田に業務を

「全面委任」

主体性投げすてた切石理事長代行

和進会争議は、「労務屋の無法行為を許すな」「和進会争議を解決せよ」との世論が大きく高まる中で、和進会評議員会(理事の選任権をもち、京大医学部の教授等で構成)も、ついにこの七月、労務屋柴田を理事不再任としその解決にむかっての大きな第一歩が切りひらかれたのでした。



反

紛争の長期化は許されない

いうまでもなく病院は患者療養の場であり医療の場における紛争の長期化が好ましくないことは明らかです。和進会切石理事長代行らが、労務屋に「業務を全面委任する」という異常事態の中で、紛争の泥沼化、長期化が懸念されている時和進会の会長であり、京大病院の長たる塚原病院長が、この争議解決にただちにイニシアチブをとることが、今、いよいよ強く求められているのではないでしょ

うか。

そして、切石氏の「全面委任」を得た労務屋柴田はいまま、自分の一方的な判断で一時金を差別することによって新たな組合つぶしをねらう一方、「地労委の命令なんか従わない」と公然と言い放つなど患者さん、教職員の迷惑もそつちのけで紛争の泥沼化・長期化に狂ほんしているのです。